

残すは閉会集会の  
3日間でつながった仲間たちと、  
手と手をぎゅつとつながらおう!!



### 「東京集会を感じましたか!?」 東京集会事務局 高見亮平

皆さん、東京集会はいかがでしたか？  
オープニング映像から始まった東京集会も、残すところ閉会集会のみとなりました。  
今回の東京集会は、若い世代が中心となり、進めてきました。そのため、そもそも「集会ってなに?」、「保問研ってなんなの?」という疑問に行き着く実行委員もいました。  
今となっては、そのことが何より大事な事だったんだなと感じています。当たり前をやっていたこと、普通のこと。でも、ちょっと立ち止まって「なんで?」と考えるだけで、「そういえば知らなかった」と気がつき、また考える。そういった意味では、私たちの東京集会は「探求」から始まったといっても過言ではないものだと思います。  
この東京集会をひとつの探求の区切りにして、私たちはまた明日から走り続けることになりそうです。その力を参加していただいた皆さんから、もらうことができました!  
本当に本当にありがとうございました!もう、今はその言葉しか出てきません!本当にありがとう!!また、東京で会いましょう!!



## 反省……!! からの 大成功!!

速報3号の失敗を受け、急ぎよ作成した4.5号の裏に、新たに「あたりマーク」をつけてみました。すると続々と当選者が、あたり速報の手に速報置き場へやってきました!みなさんの嬉しそうな、恥ずかしそうな表情を見て、私たちが嬉しくなりました。



北埼玉の方!! 番乗り!



京都の市川さん



岡山の土肥さん



マレーシアの方も!



広島を目崎さん



金魚を運んだ松山さん



愛知の古山さん



大阪の佐藤さん



とても嬉しそうな清水さん



滋賀の方は、速報掲載2回目!

### 次回開催地 愛知保問研、横井喜彦さんへインタビュー

東京集会、細かいところまで、色々なことをやっていますね。速報も人数少ないのに、よくやっています!  
6年前、東京の事務局長でした。その時に東京集会の話があり、それから今日の開催になったことを思うと、感慨深いものがあります。若い、自分も知らない人達も、年配の方達もよく聞いて、すごい!東京も変わったんだな、と思います。部会やサークルも活動が盛り上がる様子が、いいことですね。  
次回開催地として、人をたくさん集めたいと思います。近隣県に呼びかけて、集まりつつあります。がんばるぞー!

第56回全国保問研研究集会  
愛知集会実行委員会より  
次回開催地アピール!!!



集会メイン・テーマ  
「まなび つながり みとめあい せーので一歩」



全国の保問研の皆さん!

### 第56回愛知大会

2017年  
6月9日(金)  
10日(土)  
11日(日)

### 東京から 愛知(岐阜・三重)へ

会場は、東海市芸術劇場と日本福祉大学東海キャンパス。名古屋駅から名鉄で約15分、また中部国際空港から同じく名鉄で約20分、太田川駅前徒歩5分の便利なおところです。



私たち愛知保問研研究会は、すでに実行委員会を立ち上げ、着実に準備を進めています。集会のメイン・テーマは、上記のように、簡潔に分かりやすい文句としました。しかし、実は、何度も議論を重ねて、深い意味を込めています。  
第1に、「まなび」は、世代を超えて、先人・先輩からの学びを受け継ぎ、さらに科学的な視点から集団的に深め合うという、保問研の志と実践の真髄を表しています。  
第2に、「つながり」は、保育士のみならず、幼稚園やこども園の先生方、保護者、学生など多くの若い人に呼びかけ、仲間を増やし、連帯し、新たな共同と公共性を創造するということを認めました。  
第3に、「みとめあい」は、排除や差別・不寛容を退け、多様な文化や価値観を尊重し、文字どおりの承認し合うことです。  
そして、「せーので一歩」は、私たち一人ひとりが手をとり合ってともに、これら3つを東京から愛知へとつなげていく決意表明といたしました。

では来年、愛知集会で、またお会いしましょう!

愛知集会 実行委員長 色谷 和史 (F木福祉大学)







# 手と手をぎゅっと

